

2022年1月26日

平山大使のカリビアンガス化学社（CGCL）訪問

1月26日、平山大使はラ・ブレイ港の第二岸壁を訪れ、CGCL社のメタノール積込み現場を視察しました。同港では、エニル国営ガス会社（NGC）及びエネルギー会社（NE）会長とシオー・ラ・ブレイ産業開発公社（LABIDCO）社長、スーダスCGCL工場長他の案内を受けました。

ラ・ブレイ港の視察後、平山大使は、アラサCGCL社長、青柳副社長に迎えられ、メタノールの生産及び船積み状況について意見交換を行いました。アラサ社長は、3年間のカリブ地域への業務を終えトリニダード・トバゴを離任する平山大使に対し、在任中の同大使よりCGCLへの揺るぎない支援に感謝の意を表しました。

平山大使は、この重要なプラントが成功裏に生産を開始したこと及び次の輸出船で100万トンのメタノール輸出が達成される予定であることに改めて祝意を述べました。



左より、埴書記官、シオーLABIDCO 社長、平山大使、スーダス CGCL 工場長、エニル NGC 及び NE 会長



ラ・ブレイ港第2岸壁 ローディングアーム前の平山大使



アラサ CGCL 社長より平山大使へ記念品の贈呈



青柳福社長、平山大使、アラサ社長